

## 第 63 期第 2 回四役会議議事録

1 開催日時 令和 5 年 2 月 1 日 (水) 午後 6 時 30 分から午後 9 時

2 開催場所 中央書記局、各地区本部、自宅 (オンライン開催)

3 出席者

[中央執行委員長]

倉本和邦

[副中央執行委員長]

浅野浩一、原川佳也、永山幸司

[中央書記局]

齋藤雅記 (書記長)、村岡和弥 (書記次長)

4 議 題

(1) 中央執行委員長挨拶

(2) 職場諸要求について

(3) 中央委員会について

(4) 各種専門員会について

(5) 2023 春闘における税関労組としての取組みについて

(6) その他

5 議事内容

(1) 中央執行委員長挨拶

・本年もよろしくお願いいたします。今期も残り 9 か月となりました。今期の前半を振り返りますと、昨年末の人員査定がありまして、昨年度を超える 104 名の増員となりました。一昨年が 103 名なので、そこから 1 名しか増えていないというところではあるが、内閣人事局の感触的に今年は人員査定が厳しいというなか、三桁の増員を取れた事は皆様の協力のおかげだと思っております。来期の委員長も引続きやっていただけるものと思っておりますので、この流れが止まらないようよろしくお願いいたします。あと、予算も無事に増額となっております。級別定数の枠も 5 級や 4 級が増えているので、採用の山で 3 級に据え置かれている組合員が 1 人でも多く 4 級に 5 級にと処遇の方が改善されればと思っております。枠が増えたけど上がっていない組合員がいれば中央まで言っていただければと思います。

・今後の予定としては、春闘もあるが、3 月の関税定率法改正に伴う附帯決議の議員要請が始まるが、本年もしっかりと獲得できるように活動を進めていきたいと思っています。

## (2) 職場諸要求について

現状について以下のとおり、齋藤書記長から説明があった。

- ・日程候補：3月2日（木）午前または午後
- ・出席者数：7人（副中央執行委員長3名、書記長、書記次長、中執2名）

変更箇所について、齋藤書記長より説明があった。意見等については以下のとおり。

- ・移転料の事務負担は、各地区本部に現状をヒアリングすることとした。異動者の負担と処理を担当する管理担当者の負担の両方の現状を確認する。
- ・議題2（6）①の本文中、ことごとが続くため、「安全運転に努めるため、」に修正。
- ・議題4（2）の趣旨中、キャッシュクーリエの記載は外為法と意味が被るので削除。
- ・議題6（4）の趣旨中、管理者研修が7月にしかやっていないように読めるので、7月から9月に行われているように書きぶりを修正する。

## (3) 中央委員会について

現状の仮予約状況等について以下のとおり、齋藤書記長から説明があった。

- ・開催日時：4月22日（土）10：00～15：00
- ・開催会場：東京グランドホテル（芙蓉の間）
- ・委員会前日に開催する中執については、費用の面から別の会議室にする。委員会終了後の中執については、芙蓉の間にて行い、時間内で終了させる。
- ・キャンセル料金の発生時期は以下のとおり。

60日前～9日前	：見積金額総額より10%
8日前～前々日	：見積金額総額より30%
前日	：見積金額総額より50%、当日：見積金額総額より100%

検討の結果、以下を次回の中央執行委員会で提案することとした。

- ・開催する方向で進め、4/22の1日開催とする。
- ・状況を見ながら集合やオンライン併用を考えていく。
- ・時間については、コロナもあるので短縮できるようであれば短縮する。
- ・1日開催となれば芙蓉の間は4/22のみ使用し、前日の中執の場所は別の場所で行うことを検討する。

## (4) 各種専門委員会について

以下の状況について齋藤書記長から説明があり共有を図った。

ア 海事職専門委員会（◎福田、北出、佐藤、浦中、永山）

- ・令和5年1月21日にWEBにて開催。今後は議事録取り纏めの後、要求書提出。
- ・要求書の内容について、記書きの4にある「履歴限定」を解除する際に海運局に提出する「乗船履歴」の記載方法について、全国で記載が統一されていないことから、中央から各地区本部宛てに事務連絡を発出して、「乗船履歴」の記載方法について意見集約し、さらに要求書の記書きの趣旨を書く際の内容について意見を集約することとした。

なお、「乗船履歴」の記載方法について意見集約した後、国土交通省の海運局に対して、記載方法など相談する予定。

イ 行二職・医三職専門委員会（◎永山、佐藤、仲野、新里）

- ・令和5年1月27日にWEBにて開催。今後は議事録取り纏めの後、要求書提出。
- ・医（三）については、現在組合員がいないことから要求書から外すこととなった。
- ・検討議題5その他に名古屋地本が記載していた「旅費の日当に係る行一と行二の差異」について、各地区本部の現状と今後の対応について確認するため、中央から各地区本部宛てに事務連絡を発出して調査をすることとしていたが、後日、原川副中央執行委員長から「名古屋の中でまだ整理ができていないことから、調査は保留していただきたい」との連絡があったことから事務連絡は発出しなかったこととした。

ウ 男女協働委員会（◎浅野、北條、堀田、佐藤、永山）

- ・書面開催で調整中。書面開催について、地本の了解を得る予定。

エ 組織委員会（◎原川、内木、佐藤、仲野、福本、永山）

- ・令和5年3月中に集合形式にて開催予定。
- ・日程調整を今後行うこととした。3月の土日の1泊2日で調整する。
- ・答申をどうするかなど今後調整する。

（5）2023 春闘における税関労組としての取組みについて

- ・税関労組の春闘の要求書について、前期は国公連合の内容をそのままを記載していたが、税関労組独自の取組み（地域手当、寒冷地手当の支給対象拡大）を盛り込むことを検討していくこととした。

（6）その他

- ・専従職員のローテーションについて、倉本中央執行委員長から以下の修正案が提案された。第66期67期の委員長については、神戸地区本部の仲野委員長に内諾済み。第65期66期の書記長については、名古屋地区本部の原川委員長に内諾済み。理由について、名古屋地区本部の原川委員長が平成4年入関であり、専従をやってもらうのであれば、1年でも早く職場に戻った方が将来の昇給の遅れが少ないと考えられるため。四役の了承が得られたため、次回の中央執行委員会に諮ることとした。

修正前）委員長：大阪（64、65）→名古屋（66、67）

書記長：神戸（65、66）

修正後）委員長：大阪（64、65）→神戸（66、67）

書記長：名古屋（65、66）

- ・次期書記次長については、長崎の人選が終了し、本人の最終意思確認を行っている。決定後に中央執行委員会に諮ることとした。

以上